

2020 年度事業報告

1. 研究発表会・セミナー・公開講演会等の開催

(1) 研究発表会

1) 本部: 第 72 回大会

5 月 29～31 日、高崎健康福祉大学、演題登録は口頭発表 108 題、ポスター発表 157 題で、参加費納入者 331 名
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、紙上開催とした。

2) 支部: 研究発表会、卒業論文・修士論文発表会等を開催

東北・北海道支部	9 月 12 日*1
関東支部	2 月 11 日*2
中部支部	9 月 12 日*1、2 月 13 日
関西支部	10 月 26 日*3
中国・四国支部	9 月 27 日*1
九州支部	10 月 17 日*1

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

*2: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

*3: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため誌上開催とし、要旨集掲載とをもって発表成立とした。

3) 部会: 研究発表会を開催

家政学原論部会	8 月 23・24 日*1
生活経営学部会	8 月 27 日*1
家族関係学部会	10 月 10 日*1
食文化研究部会	2 月 6 日*2、3 月 6 日*2
服飾史・服飾美学部会	10 月 18 日*1、3 月 7 日*1

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

*2: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4、6、7、10、12、1 月の例会及び 11 月の研究大会は中止とし、
2、3 月は、オンライン開催とした。

(2) セミナー

1) 本部: 第 5 回家政学夏季セミナー(開催中止)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9 月 10・11 日に大妻女子大学で実施予定であったセミナーを中止した。

2) 部会:

家政学原論部会	8 月 23・24 日*4
食文化研究部会	8 月 24・25 日*1
被服材料学部会	8 月 25・26 日*1
被服整理学部会	8 月 25・26 日*2
被服構成学部会	8 月 19 日*3
被服衛生学部会	8 月 27・28 日*1
被服心理学部会	8 月 25・26 日*3、2 月 27 日*4
色彩・意匠学部会	9 月 1・2 日*3
家政教育部会	8 月 25 日*4、3 月 20 日*4

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021 年度に延期した。

*2: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2022 年度に延期した。

*3: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

*4: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

(3) 公開講演会・シンポジウム等

1) 本部: 第 72 回大会時に開催(5 月 29・30 日)*1

公開講演会、シンポジウム、教育講演、国際交流委員会・若手の会共催セミナー、家庭生活アドバイザー認定証
交付式・講演会、東日本大震災生活研究プロジェクト活動報告、ランチョンセミナー

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

2) 支部: 公開講演会を開催

東北・北海道支部	9 月 12 日*1
関東支部	4 月 18 日*1、11 月 21 日
関西支部	5 月 9 日*1、10 月 24 日*1
中部支部	9 月 12 日*1
中国・四国支部	9 月 26 日*1
九州支部	10 月 17 日*1

*1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

3) 部会: 公開講演会を開催

生活経営学部会	8 月 27 日*1
---------	------------

家族関係学部会	10月10日*1
食文化研究部会	11月17日*2
被服構成学部会	9月19日*1、2月20日*1
被服衛生学部会	3月7日*1
色彩・意匠学部会	2月27日*1
服飾史・服飾美学部会	3月7日*1

*1:新型コロナウイルス感染防止のためオンライン開催とした。
*2:新型コロナウイルス感染防止のため、中止とした。

大会企画を開催

家政学原論部会	5月31日*1
児童学部会	5月31日*1
食品組織部会	5月30日*1
被服整理学部会	5月30日*1
服飾史・服飾美学部会	5月31日*1
家政教育部会	5月31日*1

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

4) 若手の会:第72回大会時に国際交流委員会との共催でシンポジウム(5月30日)を開催*1

*1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

2. 学会誌・その他の図書の刊行

(1) 本部

1) 学会誌:「日本家政学会誌」71巻4号～12号及び72巻1号～3号(12回)を各2,600部発行し、J-STAGEで公開した。

【掲載された論文の種類・部門別編数内訳及び総ページ数】

巻号	第71巻										第72巻			掲載された論文数合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
種別	報文	1	3	3	1	1	2	3	2	3	1	4	1	25
	ノート	2	2	0	3	3	2	0	3	1	0	0	2	18
	資料	1	0	2	0	0	1	2	0	1	3	0	2	12
部門別編数	原論・経営	1		1				1						3
	児童・家族	1		1	1			2	1	1	1	1		9
	食物	1	3	2	2	2	2	1	3	2	1	3	5	27
	被服	1	1	1	1	2	2	1	1	2	1			11
	住居		1					1						2
	教育・その他							2			1			3
合計	4	5	5	4	4	5	5	5	5	4	4	5	55	
ページ数	36	55	49	33	35	54	49	40	51	46	46	53	547	

【投稿された論文の部門別内訳】

▲減少 (編)

部門	原論・経営	児童・家族	食物	被服	住居	教育	その他	合計
2019年度	7	11	36	14	5	4	0	77
2020年度	5	16	50	19	7	13	0	110
増減	▲ 2	5	14	5	2	9	0	33

【審査が終了した論文の内訳】

(編)

内訳	掲載済	印刷中	著者取り下げ	却下	合計
2020年度	35	14	8	24	81

2) 紙上開催となった第72回大会研究発表要旨集を500部発行し、J-STAGEで公開した。

(2) 支部:以下の要旨集等を刊行・データ送信した。

関東支部	「第23回家政学関連卒業論文・修士論文発表会要旨集」(データ送信)
中部支部	「第21回家政学関連院生・学生研究発表会要旨集」
関西支部	「2020(令和2)年度研究発表会要旨集」

(3) 部会:以下の部会誌・研究誌、セミナー要旨集等を刊行した。

家政学原論部会	「家政学原論研究」(No.54;J-STAGE上に公開) 「家政学原論部会夏期セミナー発表要旨集」
生活経営学部会	「生活経営学研究」 「生活経営学部会夏期セミナー報告要旨集」 「持続可能な社会をつくる生活経営学」(50周年記念事業として朝倉書店より出版)
家族関係学部会	「家族関係学」(機関誌発行とJ-STAGE公開) 「家族関係学セミナー 公開シンポジウム・自由報告要旨集」 「家族関係学部会ニュースレター」

	「家族関係学部会メールマガジン」
児童学部会	「児童学研究」
食品組織部会	「食品組織部会会報」
食文化研究部会	「会誌食文化研究」
被服材料学部会	「被服材料学部会部会報」
被服構成学部会	「被服構成学部会誌」
被服衛生学部会	「被服衛生学」「被服衛生学部会公開講座要旨集」
被服心理学部会	「被服心理学部会春季セミナー要旨集」
色彩・意匠学部会	「色彩・意匠学部会会報」 「色彩・意匠学部会春季公開セミナー要旨集」
服飾史・服飾美学部会	「服飾史・服飾美学部会報」
家政教育部会	「家政教育部会ニュースレター」

3. 研究及び調査の実施

- (1) 本部: 東日本大震災生活研究プロジェクトでは、研究調査の活発化を図り、めぐみ野地区約1,200戸のアンケート調査を本年度もおこなった。また、「たべる つくる 石巻 秋冬版」を出版した。
- (2) 支部: 中部支部若手の会でスキルアップ講習会・交流会を実施した。
- (3) 部会: 研究会、調査等を実施

食文化研究部会	被服構成学部会	色彩・意匠学部会
服飾史・服飾美学部会	家政教育部会	

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

- (1) 本部
 - 1) 2020年度日本家政学会賞として以下の通り表彰した。
 学会賞: 川端博子氏、西村公雄氏
 奨励賞: 高橋(北阪)美登梨氏、川嶋比野氏
 功労賞: 貝沼やす子氏、澤井セイ子氏、布施谷節子氏
 名誉会員: 石井克枝氏
 - 2) 活動助成として以下の支部、部会に助成を行った。*1
 支部: 関東支部、中部支部、関西支部、九州支部
 部会: 家政学原論部会、生活経営学部会、家族関係学部会、児童学部会、被服材料学部会、被服整理学部会、被服構成学部会、被服衛生学部会、被服心理学部会、色彩・意匠学部会
 - 3) 支部活動活性化サポートとして以下の支部に助成を行った。*1
 中部支部、関西支部、中国・四国支部、九州支部
 - 4) 第72回大会活性化提案企画として以下の部会に助成を予定していたが、大会開催中止のため助成を見送った。
 部会: 家政学原論部会、児童学部会、服飾史・服飾美学部会
 *1: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、複数の部会・支部より企画案変更に伴う助成金額の変更、あるいは助成の辞退があった。
- (2) 支部
 - 1) 中部支部:
 - ① 若手の会の活動に奨励金を支給した。
 - ② 日本家政学会誌に優れた論文が掲載された若手研究者1名に中部支部論文奨励賞を授与した。
 - ③ 家政学関連院生・学生研究発表会発表者1名に中部支部院生・学生発表奨励賞を授与した。
 - 2) 中国・四国支部:
 - ① 若手研究者2名に中国・四国支部賞を授与した。
- (3) 部会
 - 1) 家政学原論部会: 亀高学術出版賞を1名に授与した。各地区会に研究活動費を補助した。
 - 2) 生活経営学部会: 各地区会および若手の会に研究活動費を補助した。
 - 3) 家族関係学部会: 40周年記念事業として優秀著書賞選考を行い、優秀著書賞を1名に授与した。
 - 4) 食文化研究部会: 石川松太郎食文化研究奨励賞を1名に授与した。

5. 家庭生活アドバイザー資格認定事業

- 1) 資格取得のための第4回研修会と資格試験を、初のオンライン形式で実施した。

- 2)資格保持者のための資格更新研修と活動報告会をオンライン形式で実施した。
- 3)今後の資格のあり方について継続して検討した。
- 4)HPに会員の交流ページを開設した。

6. 内外の関連学協会等との連携及び協力

- (1) 本部
 - 1)国際交流委員会:国際家政学会(IFHE)・アジア地区家政学会(ARAHE)の組織や大会に関する広報、IFHEとの連携活動(年次理事会への国際担当特別委員の派遣、国際家政学会日本連絡会の活動、IFHE 会費代行サービスの実施)、ARAHE との連携活動、国際交流委員会 HP の更新、メルマガへの情報発信などの活動を行った。
 - 2)関連学会との交流:日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分会及び関連学会と連携して、生活科学系コンソーシアムへの活動を推進した。
 - 3)学協会関係:生活科学系コンソーシアムのメンバーとして、(一社)日本調理科学会、(一社)日本繊維製品消費科学会、日本家庭科教育学会他、関連学協会との事業の共催、情報の交換等を行った。
 - 4)公益信託家政学研究助成基金:学会員 4 名に対し研究助成された。
 - 5)生活やものづくりの学びネットワーク:関連学協会と連携して生活やものづくりの学びネットワーク公開フォーラム(9 月 27 日)、春の学習交流会(3 月 27 日)を ZOOM にて開催し、「生活やものづくりの学びネットニュース第 20 号」を刊行した。

7. その他の目的を達成するために必要な事業

- (1) 総務委員会:
 - 1)中国・四国支部の規約改正を規程等集に収載するなどの見直しを行った。
 - 2)オンラインによる会議・業務が円滑に遂行できるよう環境整備に努めた。
- (2) 財務委員会:
 - 1)財務関係書類の点検を行い、課題を検討した。
 - 2)コンサル会社との情報交換を行い、財務処理の課題事項に関する確認と情報を得た。
- (3) 情報管理委員会:
 - 1)国立情報学研究所の「家政学文献索引データベース」サービスの年度末終了を受け、データベースの返却を依頼、受領し、次年度にホームページに掲載することを検討した。
 - 2)国立国会図書館からのインターネット資料収集保存事業(WARP)の要請に対し、ホームページの収集・保存、WARP での公開を許諾、進めるのにあたり、全支部、部会、若手の会に対して、収集・保存の意向を確認した。
 - 3)第25期日本学術会議新規会員任命拒否に対する声明をホームページに掲載し、日本学術会議ニュース・メールも掲載することにより、会員に有益な情報を提供した。
 - 4)ホームページは毎月 2 回更新し、中国・四国支部のホームページを本部ホームページに移設した。
 - 5)メールマガジンを 27 回配信し、会員に有益な情報を提供した。
- (4) 編集委員会:
 - 1)編集委員会に属する規程等の見直しを行った。
 - 2)査読の迅速化に努めた。
- (5) 刊行委員会:住居学部会による「住まいの百科事典」を刊行するために編纂を進めた。
- (6) 若手の会:
 - 1)幹事の役割、企画等の見直しを行った。

8. 本部、支部及び部会の総会等の開催

- (1) 総会
 - 1)本部:2020 年度代議員総会、5 月 27 日、電磁的方法により開催 出席者 66 名(代議員 46 名、理事他 20 名)
 - 2) 支部:

通常総会	東北・北海道支部*1	関東支部*2	中部支部*3
	関西支部*2	中国・四国支部*4	九州支部*1

- *1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。
- *2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール審議とした。
- *3:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面及びメール審議により開催した。
- *4:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web 会議とした。

3) 部会:

通常総会	家政学原論部会*1	生活経営学部会*1	家族関係学部会*1	児童学部会*2
	食品組織部会	食文化研究部会	被服材料学部会*2	被服整理学部会*2
	被服構成学部会*2	被服衛生学部会*2	被服心理学部会*3	色彩・意匠学部会*3
	服飾史・服飾美学部会*3	家政教育部会*2		
臨時総会	被服衛生学部会*2	色彩・意匠学部会*1		

- *1:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web 開催とした。
- *2:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メール審議とした。
- *3:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。

(2) 理事会、役員会等

- 1) 本部:理事会 4 回(うち Web 会議 3 回、電磁的方法 1 回)、臨時理事会 5 回(うち Web 会議 2 回、電磁的方法 3 回)、会長副会長会 8 回(Web 会議)

2) 支部:

東北・北海道支部	支部役員会 2 回(メール審議)
関東支部	支部役員会 5 回(3 回は Web 会議、2 回はメール審議)
中部支部	支部役員会 2 回(Web 会議)、臨時役員会 3 回(メール審議) 支部役員連絡会 2 回
関西支部	支部役員会 4 回(うち 2 回はメール審議、2 回は Web 会議)
中国・四国支部	支部常任幹事会 6 回(書面会議 5 回、Web 会議 1 回)
九州支部	支部役員会 3 回(うち 1 回はメール審議、2 回は Web 会議)

3) 部会:

家政学原論部会	常任委員会 7 回、新旧役員会 1 回(Web またはメール会議)
生活経営学部会	常任委員会 7 回(メール審議 4 回、Web 会議 3 回)、部会役員会 1 回(Web 会議)
家族関係学部会	部会役員会 2 回
児童学部会	2 回
食品組織部会	1 回
食文化研究部会	10 回
被服材料学部会	部会幹事会 1 回
被服整理学部会	1 回(メール審議)
被服構成学部会	4 回
被服衛生学部会	3 回(Web 会議)
被服心理学部会	2 回(Web 会議)
色彩・意匠学部会	3 回(メール審議 1 回、Web 会議 2 回)
服飾史・服飾美学部会	3 回
住居学部会	1 回(メール審議)
家政教育部会	4 回(Web 会議)

4) 若手の会: 幹事会 1 回

(3) 各種委員会

1) 本部:

財務委員会	2 回(うち Web 会議 1 回)
企画・広報委員会	1 回(Web 会議)
国際交流委員会	2 回(Web 会議)
編集委員会	4 回(Web 会議)
研究発表審査委員会	1 回(Web 会議)
名誉会員審査委員会	1 回(Web 会議)
学会賞選考委員会	2 回(Web 会議)
功労賞推薦委員会	2 回(Web 会議)
家政学夏季セミナー実行委員会	1 回(Web 会議)
家庭生活アドバイザー資格認定委員会	6 回(Web 会議、メール審議)

2) 支部:

関東支部	若手の会幹事会 4 回(うち 2 回はメール審議)
中部支部	若手の会役員会(ミーティング)4 回、中部支部奨励賞選考委員会 2 回
九州支部	第 74 回年次大会実行委員会 2 回(Web 会議)

3) 部会:

家政学原論部会	編集委員会 5 回、選挙管理委員会 1 回、亀高学術出版賞選考委員会 2 回 (Web またはメール会議)
家族関係学部会	編集委員会他 10 回
児童学部会	編集委員会 5 回
食品組織部会	ポスター展示検討委員会 1 回
食文化研究部会	会誌編集委員会4回、オンライン検討委員会4回、奨励賞選考委員会2回、 「コロナ禍における食生活(仮)」企画委員会 2 回
被服材料学部会	夏季セミナー実行委員会他 5 回(メール審議後、延期決定)
被服整理学部会	夏季セミナー実行委員会 4 回(Web 会議他)
被服衛生学部会	セミナー実行委員会 3 回(メール審議)
被服心理学部会	セミナー実行委員会 2 回(Web 会議)
色彩・意匠学部会	セミナー実行委員会他 3 回
服飾史・服飾美学部会	企画委員会他 3 回
住居学部会	出版企画編集委員会随時メール審議
家政教育部会	セミナー実行委員会他 3 回(メール審議)

9. 会員

		正 会 員 (永年会員)		学生会員	海外会員	賛助会員	計	前年度との 増減
支部	東北・北海道	170	(11)	5	-	-	175	▲ 12
	関東	938	(47)	67	-	-	1,005	▲ 20
	中部	222	(3)	9	-	-	231	▲ 21
	関西	406	(15)	26	-	-	432	▲ 36
	中国・四国	214	(10)	31	-	-	245	▲ 13
	九州	158	(7)	11	-	-	169	▲ 18
名誉会員		12	-	-	-	-	12	1
海外会員		-	-	-	11	-	11	▲ 3
賛助会員		-	-	-	-	35	35	0
会員種別合計		2,120	(93)	149	11	35	2,315	▲ 122
前年度との増減		▲ 82	▲ 3	▲ 37	▲ 3	0	▲ 122	

会員の状況(2021年3月31日現在)

▲減少

10. 附属明細書に関する事項

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。